

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第41週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (41 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：日本紅斑熱 2 例。5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	70歳代	女	結核性椎体炎	腰痛
4類	日本紅斑熱	宮崎市	90歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常
		小林	50歳代	男	—	発熱、発疹、筋肉痛
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	尿路感染症
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,209 人(定点当たり 27.0)で、前週比 80%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及び咽頭結膜熱であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

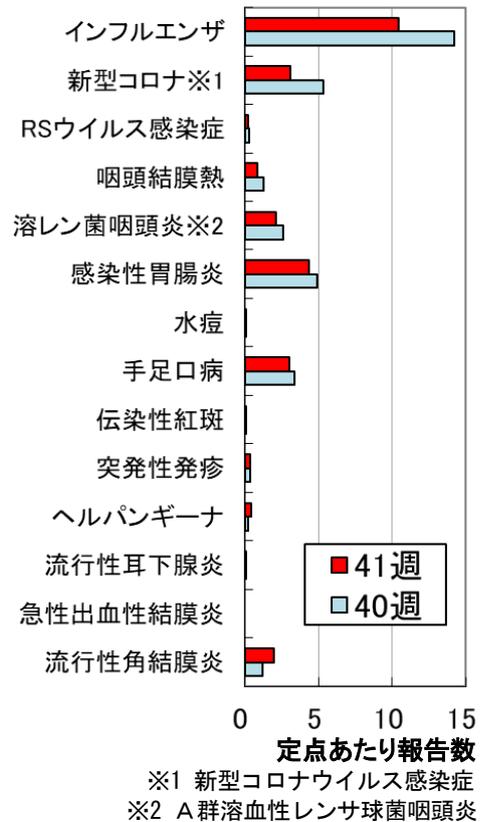
報告数は 178 人(3.1)で、前週比 58%と減少した。都城(5.2)、高千穂(4.5)、高鍋(4.2)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

##### 【インフルエンザ】

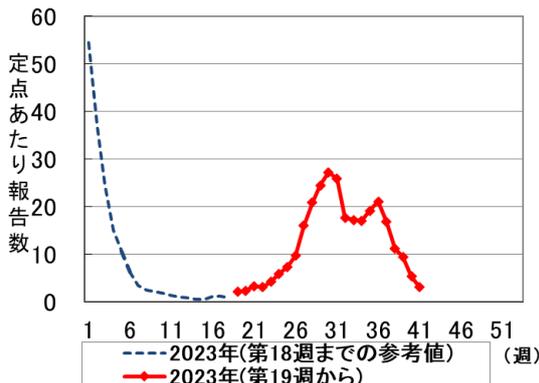
報告数は 607 人(10.5)で、前週比 74%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.19) の約 56.1 倍であった。中央(24.0)、延岡(19.0)、高鍋(15.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

### 《前週との比較》

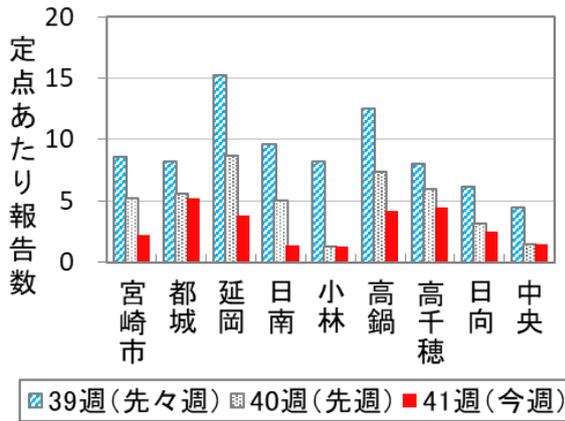


### 新型コロナウイルス感染症 発生状況

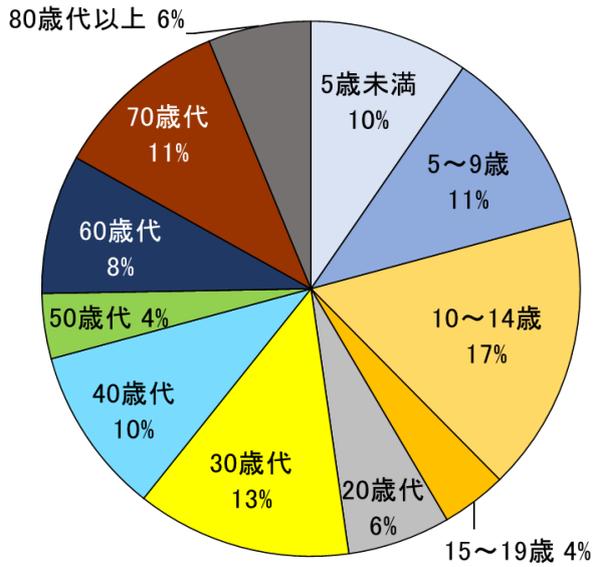


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

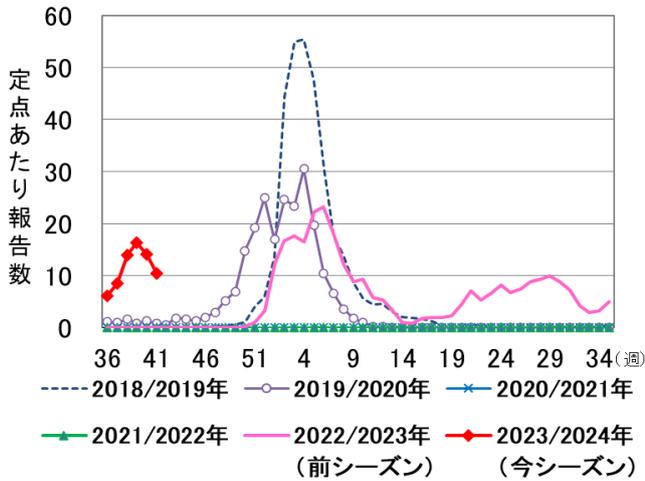
新型コロナウイルス感染症  
保健所別推移(3週分)



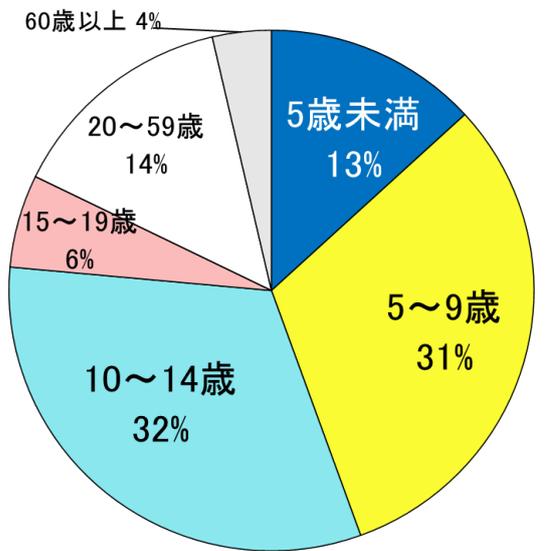
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第41週)



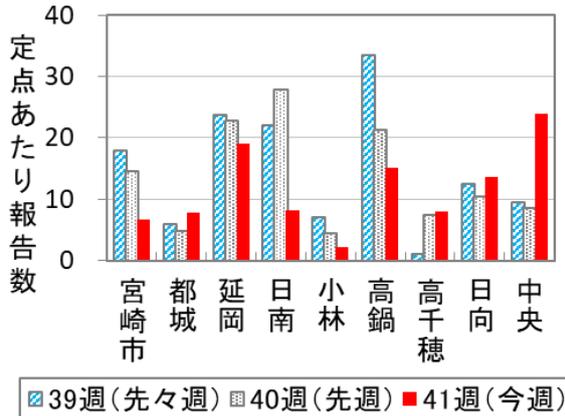
インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ年齢群別グラフ(第41週)



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(6.0)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(19.0)
日南	なし
小林	手足口病(5.7)
高鍋	インフルエンザ(15.2)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(13.7)
中央	インフルエンザ(24.0)、咽頭結膜熱(5.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・手足口病(5)

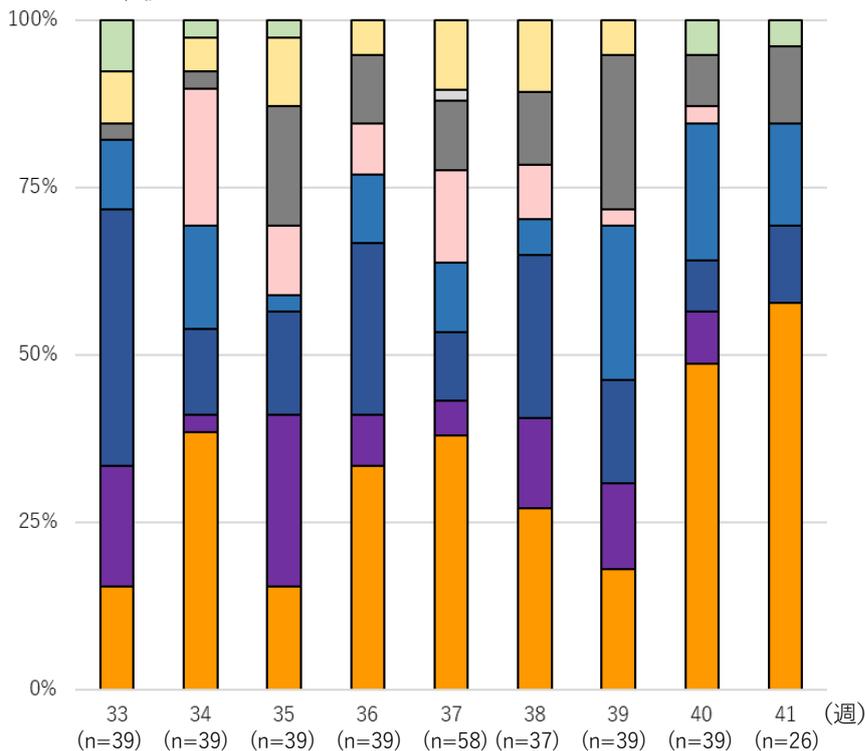
※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統

- EG.5.1系統
- XBB.1.16系統
- XBB.2.3系統
- XBB以外のX系統
- BA.5系統
- XBB.1.9系統(EG.5.1を除く)
- XBB.1.5系統
- その他のXBB系統
- BA.2.75系統



XBB系統は第41週で約96%を占め、EG.5.1系統(XBB.1.9.2の子孫株)が約58%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBBはBJ.1(BA.2.10.1系統)／BM.1.1.1(BA.2.75.3系統)の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## ✚ 全国 2023 年第 40 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	260 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	73 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	8 例	エムボックス	2 例	ジカウイルス感染症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	5 例	つつが虫病	1 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	27 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	56 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	10 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	5 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	15 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	162 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	26 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及びヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 49,212 人(9.99)で前週比 104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.22)の約 45.4 倍であった。沖縄県(30.9)、千葉県(21.1)、山口県(19.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 25,630 人(5.2)で前週比 59%と減少した。北海道(8.2)、沖縄県(7.5)、石川県(7.4)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2023年9月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は43人(3.3)で、前月比110%と増加した。また、昨年9月(2.3)の約1.4倍であった。

《疾患別》

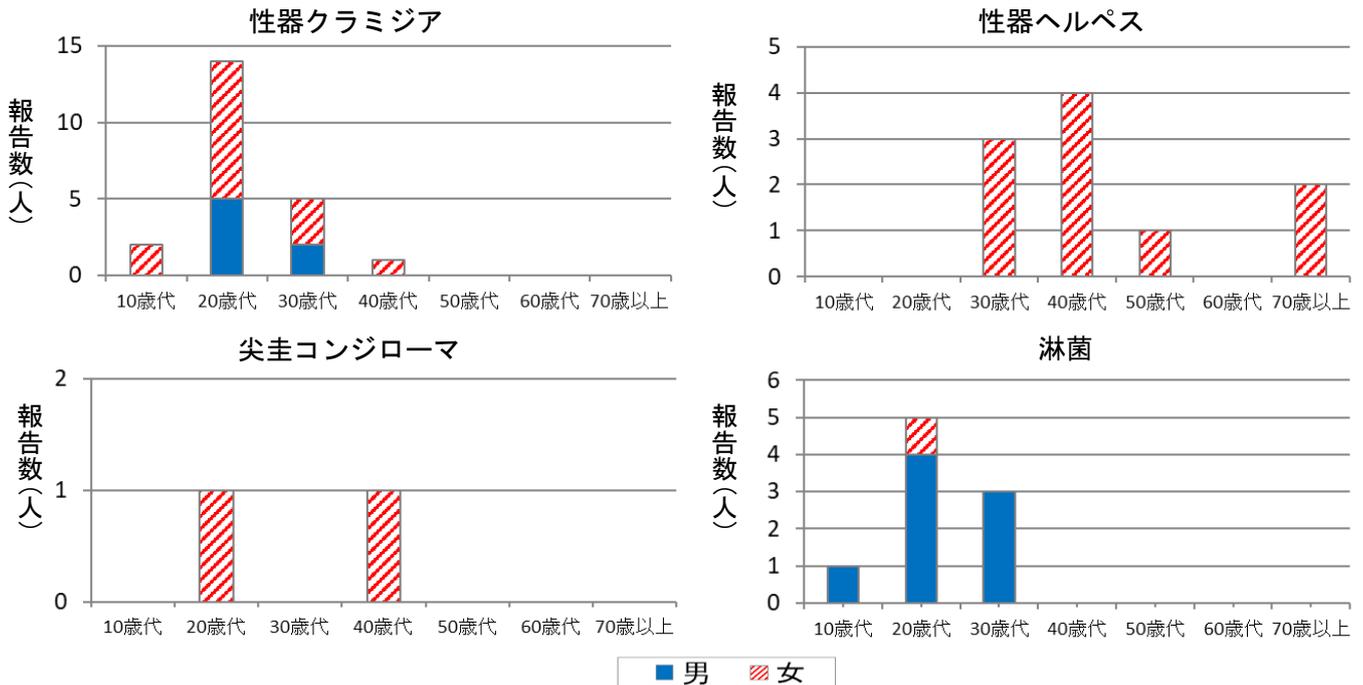
○性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月と同程度、昨年9月の約1.2倍であった。

20歳代が全体の約6割を占めた。(男性7人・女性15人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.77)で、前月と同率、昨年9月の2.0倍であった。(女性10人)

○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年9月と同率であった。(女性2人)

○淋菌感染症：報告数9人(0.69)で、前月及び昨年9月の約2.3倍であった。(男性8人・女性1人)



### 【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,801人(4.9)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,718人(2.8)で前月比104%、性器ヘルペスウイルス感染症791人(0.81)で前月比96%、尖圭コンジローマ482人(0.49)で前月比91%、淋菌感染症810人(0.83)で前月比99%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で、前月比81%と減少した。また、昨年9月(3.6)の約0.8倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人(3.0)で、前月及び昨年9月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

### 【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,378人(2.9)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,290人(2.7)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症80人(0.17)で前月比81%、薬剤耐性緑膿菌感染症8人(0.02)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2023年 第41週(10月09日～10月15日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	823	607	108	79	133	41	9	91	16	82	48
	定点当り	14.19	10.47	6.75	7.90	19.00	8.20	2.25	15.17	8.00	13.67	24.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	308	178	35	52	27	7	5	25	9	15	3
	定点当り	5.31	3.07	2.19	5.20	3.86	1.40	1.25	4.17	4.50	2.50	1.50
RSウイルス感染症	報告数	10	8	3	2			1	1		1	
	定点当り	0.28	0.22	0.30	0.33	0.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	45	31	12	7	2		3			2	5
	定点当り	1.25	0.86	1.20	1.17	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.50	5.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	93	77	18	34	6	6	1	5		6	1
	定点当り	2.58	2.14	1.80	5.67	1.50	2.00	0.33	1.25	0.00	1.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	176	156	50	34	8	9	24	5	1	20	5
	定点当り	4.89	4.33	5.00	5.67	2.00	3.00	8.00	1.25	1.00	5.00	5.00
水痘	報告数	4	2	1				1				
	定点当り	0.11	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	121	108	60	6	6	5	17	9	3	1	1
	定点当り	3.36	3.00	6.00	1.00	1.50	1.67	5.67	2.25	3.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	1	1				1					
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	13	8	1			2	2			
	定点当り	0.39	0.36	0.80	0.17	0.00	0.00	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	9	15	9	3			2	1			
	定点当り	0.25	0.42	0.90	0.50	0.00	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	1	1								
	定点当り	0.11	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	12	10	2							
	定点当り	1.17	2.00	3.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～41週保健所受理分)

2類感染症	結核	88例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11例	腸チフス	1例
	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	10例
4類感染症	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	1例
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例(1)
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	142例(1)
			百日咳	5例

( )内は今週届出分、再掲